

# 自進 3 学年通信

第3号

平成30年10月19日発行  
福岡県立久留米高等学校  
校長 木本 和宏  
第3学年主任 吉田 貞徳

## 「秋の思い出」 2組担任 小河 菜々

ひんやりとした夜の空気に優しい香りが漂っていました。終わらなかつた仕事をとにかく鞆に押し込んで、帰宅した時のことです。あれもやらなきゃ、これもやらなきゃと力んでいた心が、ふわりと軽くなるようなそんな香りでした。金木犀(きんもくせい)、いつの間に咲いたんだろう。

そういえば、実家の玄関にも金木犀がありました。バタバタと学校へ急ぐ私と妹を「ちょっと見てごらん」と呼びとめ、季節の移ろいを教えてくれるのはいつも母でした。つい先日も母からメールがありました。金木犀が咲いたと。季節を感じる余裕がない娘を、いまだ心配しているのかもしれない。小学校の校庭にもとても大きな金木犀の木があって、花が咲くと甘い香りが立ち込め、地面は一面にオレンジ色になりました。父や母に見せてあげたくて、拾い集めた花をポケットにたくさん詰め込んで持って帰ったことも。(家に帰り着くころには、しなしなになっていましたが…) 私の、金木犀の思い出です。

秋になると思い出すことがもう一つ。毎年誕生日に送られてきたおばあちゃんからの宅急便です。開けるとかすかにぬかの匂いがする箱の中には、独特のセンスで選び抜かれたお菓子や缶詰、佃煮や漬物がぎっしりと詰め込まれていました。食べかけのお菓子なんかが入っていたりすることもあって、「これ、おいしかったけん食べさせてあげようって、入れてくれたんだろうね」と家族で笑いました。決しておしゃれなプレゼントではなかったけど、今年は何が入っているかなといつも待ち遠しく思っていました。おばあちゃんが亡くなって、もう宅急便が届くことはないけど、あのほっこりした気持ちは毎年ちゃんと思い出します。

センター試験まで100日を切りました。受験勉強は厳しく孤独な営みのように感じるかもしれません。この努力が報われないかもしれないのならいつそやめてしまおうか。頑張っている人ほど、不安や恐れが大きいものです。ちょっと行き詰まり、しんどいなと思ったときには、大切な記憶や思い出をたどってみませんか。それはきっと誰かに支えてもらったり、見守ってもらったり、優しくしてもらったあたたかな記憶なのだと思います。みんなは本当にたくさんの人に応援されています。大事にされています。それを力にかけて今はとにかく一生懸命やりましょう。ぼろぼろになった単語帳、先生の叱咤激励、色づく中庭も、あと半年たてばよき思い出の一つになるはずです。



## 「同窓会」 5組担任 篠原 一英

今年は私にとって「同窓会」の年です。この秋に高校の「大同窓会」が2つ開催されます。先月、その一つに出席しました。もう一つには来月参加することになります。

先月の同窓会には教員として招かれました。私の初任校の最初の卒業生である生徒たちが実行委員を務めた学校全体の同窓会です。筑後南部の伝統校であることから全体の参加者は約1000人と盛会でした。450名の同期生の中から係として約170名の教え子たちが参加していました。卒業以来、数十年が経ち、少年少女だった彼らも立派な社会人となり、親となっていました。ちょうど君たちのご両親の年代ではなかろうかと思います。その当時の卒業アルバムを開くといろいろな思い出が巡ってきます。卒業に際して書いた一文には「大学を出たばかりの私には君たちに教えることより君たちから教わるの方が多かったように思えます。」とあります。その当時は「共に学ぶ」を信条とし、私にとって初めての受験指導と彼らにとって初めての大学受験を共に乗り切りました。そのときの経験がその後の私の教員人生に大きく生かされています。彼らと過ごした日々はまるで昨日のこのように今でも鮮明に記憶に残っています。

来月の同窓会は母校の大同窓会です。今度は逆の立場で、つまり、生徒として参加します。それも実行委員としてお世話をする事になっていきます。今年に入って毎月、実行委員会が開かれており、可能な限り出席し、準備を行っています。準備を進める中で、卒業以来、初めて再会したクラスメートもいます。いろいろな人生を歩んできて、これもまた、少年少女だった同級生たちは立派な「おじさん」「おばさん」になっていました。高校時代は一度も話したことのなかった人とも話すようになり、また新しい出会いとなりました。振り返ってみると、やはり思い出すのは体育祭、修学旅行、そして受験勉強です。どれも友人とともに頑張った記憶があります。特に受験勉強はお互いに励ましあいながら乗り切ったような気がします。その友人も実行委員を務めており、懐かしく思い出話をしています。同窓会当日にはたくさんの同期生が参加してくれることになっており、また幸運にも私が3年生の時の担任の先生にも出席していただけるとのことで、本当に当日が楽しみです。

卒業まであと5か月を切りました。高校生活もあとわずかです。その中に人生の岐路になるかもしれない受験があります。これからが本当に精神的にも身体的にも苦しい時期になると思いますが、仲間がいるからこそ乗り切れるのです。その仲間とお互いに励ましあいながら頑張っていきたいと思っています。受験が終われば、きっとその苦しい思いや、励まされ支えられた喜びもまた、いい思い出となり、君たちの数十年後の「同窓会」で懐かしく語り合えることができるでしょう。その「同窓会」を楽しみに、受験終了までもう一頑張りしましょう。できることなら、私も数十年後の君たちの「その後」を見てみたいです。

## 10月から12月までの学校行事

10月27日(土) 28日(日)	進研マーク模試
11月 3日(土) 4日(日)	防衛大学校1次
11月 8日(木)	歌舞伎鑑賞
11月10日(土)	久セミ
11月22日(木) ~ 28日(水)	期末考査
12月 1日(土) 2日(日)	全統マーク模試
12月 8日(土)	久セミ
12月14日(金) ~ 18日(火)	三者面談
12月18日(火)	終業式
12月19日(水) ~ 28日(金)	冬課外





## 8月！4泊5日で勉強合宿に行ってきました！！

7月31日（火）～8月4日（土）の4泊5日、熊本県山鹿市にある「ゆとりろ山鹿」で3年生の勉強合宿をおこないました！希望制でしたが、185名の生徒が自主的に参加し、学習を仲間と共におこないました！



みんなで一生懸命学習しました。



特別講座もおこないました！



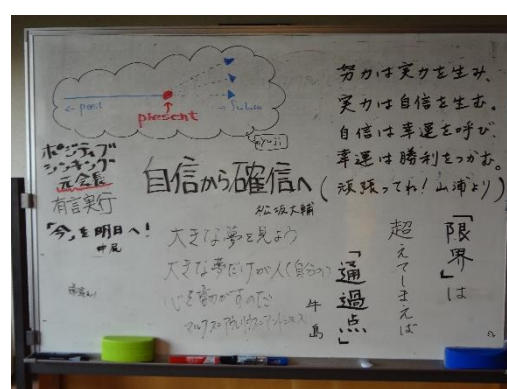
たくさん質問をしています。



食事の時間は和気藹々と！



校長先生も激励に来てくださりました！



激励に来られた先生方からのメッセージ

（生徒の感想文）

この勉強合宿に参加しようと思ったきっかけは、多数あるけれど、決め手になったのは、勉強合宿に参加された先輩方の話です。どの先輩に聞いても、「絶対に参加したほうがいい！」「この合宿でスイッチが入る！」と口をそろえて言っていました。実際に参加してみて、テスト前や日頃の勉強の2～3倍は頑張れました。私が頑張れた理由は2つあります。

1つ目は、同じ部屋やクラスで頑張ろうの声掛けや「皆で明日5時に起きよう！」と励ましあい、高めあい、自分ひとりで頑張っている気がしませんでした。朝5時から開く勉強部屋もどの時間にも誰か座って勉強しているし、自習の時間は、隣や周りから、シャーペンの音が聞こえてきたり、頑張らないと！という雰囲気クラスの枠を超えて学年全体でつくることができました。

2つ目は、1日の最後や朝に行われる先生方からの話、ホワイトボードの激励のメッセージです。毎日、毎日、前で話して頂く先生方の話の内容が、疲れて、明日の朝は遅く起きようと思う弱い自分が出てきた時に、頭をよぎり、背中を押してくれているようでした。1日の疲れをまた明日から頑張れる活力に変えてくれました。

丸山先生から「勉強とは何か」を探してという課題が与えられましたが、私はまだあまりはっきりしていません。これから長い長い受験期間に答えを見つけ出したいです。今回の合宿での経験を糧に第一志望合格を目標に、久留米高校3年生全員で日々進歩していきたいです。

（生徒の感想）

今回の勉強合宿を通して、今までの自分に対してなかなか厳しくなれていなかったことに気づきました。休日の2日間で10時間学習をしたこともあったけど、5日くらい続けてやることの辛さ、充実さを感じました。この勉強合宿に行っていなかったら、きっとすぐにスマホを使ってしまって、全然勉強時間がとれていなかったらと思うと参加してよかったと思います。1人で勉強するのもいいけど、やっぱり一緒に勉強している友達がいると自分も頑張ろうと思えるし、休み時間も勉強している人を見ると、すごく刺激されました。何より頑張っているのは1人じゃないと思うことは心の励みになったし、受験は団体戦の意味がよく分かった気がします。この勉強合宿の中で色々な先生方にお話しをして頂きました。その中で私が印象に残っているのは、小河先生と寺崎先生の話です。寺崎先生は自分の経験したことを話してくれて、選択肢があるとき必ず苦しい方、きつい方を選んでほしいという言葉がすごく心に残りました。受験に失敗したとき、絶対に勉強をしていなかった時の自分を悔やむことになると思います。だから、後悔しないためにも、自分に厳しくしていきたいと思いました。小河先生は、時間をかけている自分に焦らないでほしい。長い時間をかけないと手に入らない。という言葉がすごく心に染みしました。私は、時間をかけてもなかなか点数が伸びなくてとても不安でした。でもこの言葉を聞いて、すごく前向きになれました。焦らないで、今できることを限界を超えるくらいやっ払いこうと思いました。最後に自分にとっての勉強は「弱い自分を変えてくれるもの」だと思いました。辛くて、きつい勉強を乗り越えれば必ず自分を強くしてくれる。何かに向かうことの大変さ、やりとげることの大切さを教えてくれると思います。